

# SPA100 シリーズのユーザ設定

## 目標

SPA100 シリーズは 2 つの電話回線ポートを、PHONE1 および PHONE2 提供します。各行は特定のユーザに割り当てることができます。SPA100 シリーズのコンフィギュレーションユーティリティは各電話回線のユーザ向けのプリファレンスを設定するオプションを提供します。この技術情報はコール転送、選択的なコール転送、速度ダイヤルおよびリング設定が含まれているすべてのユーザ設定の完全なパッケージです。これらの設定はすべて効果的にはたらき、これらの設定を行った後時間を節約することができる管理者がように必要です。この技術情報はこれらのユーザー設定をそれらを設定する方法を詳しく説明し

## 適当なデバイス

- SPA100 シリーズ

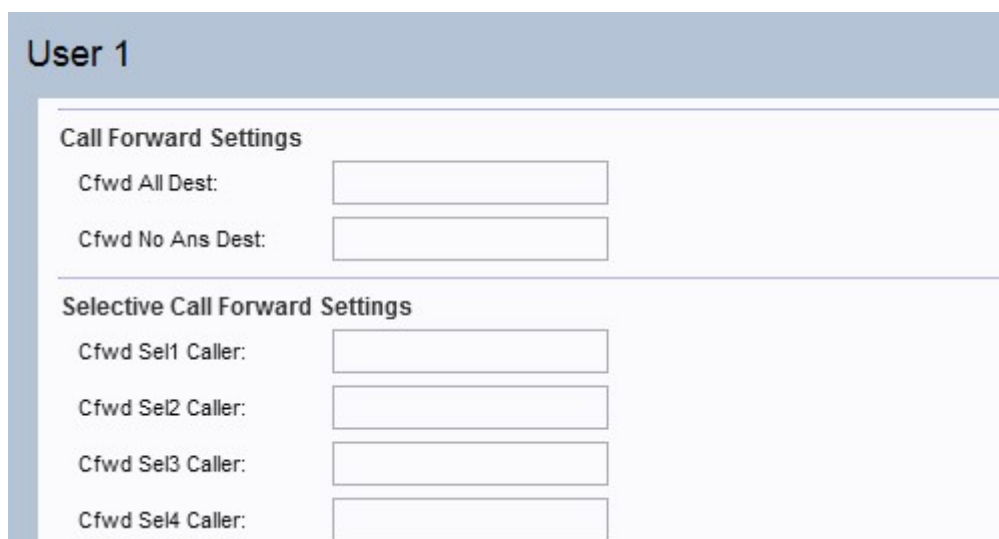
## [Software Version]

- v1.2.1(004)

## ユーザ設定

注: これらの設定は GUI の 2 ページ ユーザ向けにまた設定可能です。CONF への設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは音声 > User1 を選択し。1 ページ ユーザは開きます:



User 1	
<b>Call Forward Settings</b>	
Cfwd All Dest:	<input type="text"/>
Cfwd No Ans Dest:	<input type="text"/>
<b>Selective Call Forward Settings</b>	
Cfwd Sel1 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel2 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel3 Caller:	<input type="text"/>
Cfwd Sel4 Caller:	<input type="text"/>

注: 管理者は *Line 1* ページのそれぞれ設定を最初に有効にし、次に機能のために *1* ページユーザできちんとはたらくためにそのための番号を規定されたフィールド入力しなければなりません。 *1* ページユーザの自動転送設定セクションを設定する前に Cfwd を *Line 1* ページの補助サービス予約購読セクションのすべてのサービス、Cfwd 使用中サービスおよび Cfwd No Ans サービス有効にしてください。

呼び出します。 *1* ページユーザでページの自動転送設定セクションにスクロールしてください。

Call Forward Settings			
Cfwd All Dest:	<input type="text"/>	Cfwd Busy Dest:	<input type="text"/>
Cfwd No Ans Dest:	<input type="text"/>	Cfwd No Ans Delay:	<input type="text" value="20"/>

- Cfwd すべての Dest — Cfwd が *Line 1* ページですべてのサービスフィールド有効になる場合、Cfwd のすべてのコールにすべての Dest フィールドを転送して管理者がほしい望ましい電話番号を入力してください。
- Cwd 使用中 Dest — Cfwd 使用中サービスフィールドが *Line 1* ページで有効になる場合、電話線が Cfwd 使用中 Dest フィールドで使用中的である場合すべてのコールを転送して管理者がほしい望ましい電話番号を入力してください。
- Cfwd No Ans Dest — Cfwd No Ans サービスフィールドが *Line 1* ページで有効になる場合、Cfwd No Ans Dest フィールドの呼出し番号から返事がない場合すべてのコールを転送して管理者がほしい望ましい電話番号を入力してください。
- Cfwd No Ans 遅延 — Cfwd No Ans 遅延フィールドの呼出し番号から無応答がある場合コールが転送される前に秒に時間の遅れを入力してください。それは所定の時間を待ち、返事がなければコールは転送されます。デフォルト設定は **20 秒**です。

注: 選択的な自動転送設定はまたこのデバイスのイネーブルである場合もあります。この機能の助けによって指定番号からコールは所望の宛先数に転送されます。8 つまでのコールは所望の宛先数に転送することができます。

ステップ 3.ページの選択的な自動転送設定セクションへのナビゲート。

### Selective Call Forward Settings

Cfwd Sel1 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel1 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel2 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel2 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel3 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel3 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel4 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel4 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel5 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel5 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel6 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel6 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel7 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel7 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Sel8 Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Sel8 Dest:	<input type="text"/>
Cfwd Last Caller:	<input type="text"/>	Cfwd Last Dest:	<input type="text"/>
Block Last Caller:	<input type="text"/>	Accept Last Caller:	<input type="text"/>

- Cfwd Sel1-8 発信者— Cfwd Sel1 発信者 フィールドの別の数にコールを転送して管理者がほしい指定 番号を入力して下さい。
- Cfwd Sel1-8 Dest —管理者がコールを転送したいと思う宛先番号を入力して下さい Cfwd Sel1 Dest フィールドのステップ 2 で規定 される数呼出された場合。
- Cfwd 最後発信者—このフィールドで Cfwd 最後 Dest に自動転送 アクティベーションコードの使用によってアクティブに転送される発呼側番号を入力して下さい。
- Cfwd 最後 Dest —このフィールドで Cfwd 最後発信者 パラメータのための前方数を入力して下さい。
- ブロックして下さい最後の発信者—発信者の ID がブロック最後発信者サービスによってブロックしたこのフィールドで入力して下さい。
- 受け入れて下さい最後の発信者—発信者の ID が受諾最後発信者サービスによって受け入れたこのフィールドで入力して下さい。

ステップ 4. ページの速度ダイヤル設定セクションへのナビゲート。

### Speed Dial Settings

Speed Dial 2:	<input type="text"/>	Speed Dial 3:	<input type="text"/>
Speed Dial 4:	<input type="text"/>	Speed Dial 5:	<input type="text"/>
Speed Dial 6:	<input type="text"/>	Speed Dial 7:	<input type="text"/>
Speed Dial 8:	<input type="text"/>	Speed Dial 9:	<input type="text"/>

- 速度はダイヤルします 2-9 に—速度が 2-9 にダイヤルするフィールドに関しては、対応した ボタン数にマッピング されたい電話番号を入力して下さい。 速度ダイヤル番号 1 スロットは音声メールのために予約済みです。

ステップ 5. ページの補助サービス設定セクションへのナビゲート。

### Supplementary Service Settings

CW Setting:	<input type="button" value="yes"/>	Block CID Setting:	<input type="button" value="no"/>
Block ANC Setting:	<input type="button" value="no"/>	DND Setting:	<input type="button" value="no"/>
CID Setting:	<input type="button" value="yes"/>	CWCID Setting:	<input type="button" value="yes"/>
Dist Ring Setting:	<input type="button" value="yes"/>	Secure Call Setting:	<input type="button" value="no"/>
Message Waiting:	<input type="button" value="no"/>	Accept Media Loopback Request:	<input type="button" value="automatic"/>
Media Loopback Mode:	<input type="button" value="source"/>	Media Loopback Type:	<input type="button" value="media"/>

- CW 設定—すべてのコールのためにコール ウェイティングを使用するためにドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトははいに設定されます。
  - ブロック CID 設定—すべてのコールのための発信者 ID をブロックすることをドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトはにいいえ設定されます
  - ブロック ANC 設定—番号非通知呼び出しをブロックすることをドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトはにいいえ設定されます
  - DND 設定— DND ( Do Not Disturb ( サイレント ) ) オプションを使用するためにドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトはにいいえ設定されます
  - CID 設定—発信者 ID 世代別オプションを使用するためにドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトははいに設定されます。
  - CWID 設定—コール ウェイティング 発信者 ID 生成を使用するためにドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトははいに設定されます。
  - Dist リング 設定—固有呼び出し音を使用するためにドロップダウン リストかいいえから、はい選択しないで下さい。 デフォルトははいに設定されます。
  - 保護して下さいコール設定—ドロップダウン リストかいいえからはい選択して下さい YES に設定された場合、それからすべてのアウトバウンドコールはセキュアであり、ユーザにコールのためのセキュリティを無効にするために \*19 にダイヤルするオプションがあります。 に設定されたら場合、それからすべてのアウトバウンドコールはセキュアではないし、ユーザに \*18 のダイヤルによってセキュア コールをするオプションがあります。
- 注： この設定はセキュア コール サービスがラインインターフェイスの YES に設定されるときだけはたります。
- メッセージ待っていること—ドロップダウン メニューかいいえからはい選択して下さい YES に設定された場合、それはスタッタ音および VMWI 場合をアクティブにします。 デフォルトはにいいえ設定されます
  - 受け入れて下さいメディア ループバック要求—ドロップダウン リスト、自動、か手動から決して選択しないで下さい。 決して選択されない場合、それは決してループバック コールを受け入れません。 自動なら、それ自動的に受け入れます鳴らないでコールを選択されます。 手動が選択される場合、電話は鳴り、ループバックが開始する前にコールは手動で選ばれなければなりません。 デフォルトは自動に設定されます。

- メディア ループバック モード—メディア ループバックを要求するためにコールをした場合ローカルで仮定することをドロップダウン リストから、ループバック モード選択して下さい。 オプションは出典およびミラーです。 デフォルトはソースをたどるために設定されます。

- メディア ループバック タイプ—メディア ループバック オペレーションを要求するためにコールをした場合ローカルで仮定することをドロップダウン リストから、ループバック タイプ選択して下さい。 オプションはメディアおよびパケットです。 デフォルトはメディアに設定されます。

ステップ 6. ページの固有呼び出し音設定セクションへのナビゲート。

Distinctive Ring Settings			
Ring1 Caller:	<input type="text"/>	Ring2 Caller:	<input type="text"/>
Ring3 Caller:	<input type="text"/>	Ring4 Caller:	<input type="text"/>
Ring5 Caller:	<input type="text"/>	Ring6 Caller:	<input type="text"/>
Ring7 Caller:	<input type="text"/>	Ring8 Caller:	<input type="text"/>

- Ring1 はこれらのフィールドで - 8 発信者 8 人までの発信者のための固有呼び出し音をするために—、発呼側番号 パターン入ります。

ステップ 7. ページのリング設定セクションへのナビゲート。

Ring Settings			
Default Ring:	<input type="text" value="1"/>	Default CWT:	<input type="text" value="1"/>
Hold Reminder Ring:	<input type="text" value="8"/>	Call Back Ring:	<input type="text" value="7"/>
Cfwd Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>	Cblk Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>
VMWI Ring Policy:	<input type="text" value="New VM Available"/>	VMWI Ring Splash Len:	<input type="text" value="0"/>
Ring On No New VM:	<input type="text" value="no"/>		

- デフォルトはドロップダウン リストから ring —、デフォルト リング パターン選択します。 デフォルトは 1. に設定されます。

- デフォルト CWT —ドロップダウン リストから、デフォルト CWT ( コール ウェイティング ) パターン選択して下さい。 デフォルトは 1. に設定されます。

- ホールド メモはドロップダウン リストから ring —電話がオンフックのとき、ホールディング コールのメモのためのリング パターン選択します。 デフォルトは 8. に設定されます。

- コールは ring —形式をドロップダウン リスト、コール 通知のためのリング パターン選択します。 デフォルトは 7. に設定されます。

- Cfwd リング スプラッシュ Len —コールが転送される時このフィールドで、リング スプラッシュの期間入力して下さい ( 0 からの 10.0 秒への範囲 )。 デフォルト値は 0 に設定されます。

- Cblk リング スプラッシュ Len —コールがブロックされる時このフィールドでリング スプラッシュの期間入力して下さい ( 0 からの 10.0 秒への範囲 )。 デフォルト値は 0 に設定されます。

- VMWI リングはこのフィールドのための次のいずれかのオプション ドロップダウン リストから policy — 選択します。 デフォルトは利用可能な新しい VM に設定されます。

- 利用可能な新しい VM — 利用可能な新しい VM が選択される場合、リング スプラッシュは限りそこに新しい音声 メッセージされます。

- 新しい VM はなりません利用可能に—新しく場合利用可能な VM はなりません最初の新しい音声 メッセージが受け取られるときリング スプラッシュはポイントでされます。

- 新しい VM は着きます—新しい VM Arrives 選択される場合、リング スプラッシュは新しい音声メール メッセージの数が増加するときされます。

- VMWI リング Splash Len — VMWI 場合が適用する前に新しいメッセージが着くときこのフィールドでリング スプラッシュの期間入力して下さい。 範囲は 0 から 10.0 秒からです。 デフォルト値は 0 に設定 されます。

- 新しい Vm 無しのリングードロップダウン リストかいいえからはい選択して下さい YES が選択される場合、ATA は音声メールサーバが ATA に SIP 呼出 メッセージを送るときすべての音声メールが読まれたことを示すリング スプラッシュをします。 デフォルトはにいいえ設定されます

ステップ 8.変更を保存するために『SUBMIT』 をクリックして下さい。